

決算書の数字から今を正しく見抜き、未来の選択肢を広げる！

経営判断に活ける！財務分析講座

※決算書の読み方を基礎から学びたい方は「HR005 決算書の読み方基礎講座（6月開講）」をご受講ください。

**金沢
キャンパス**

財務管理

研修のねらい

決算書は経営の「健康診断書」であり、企業の「現在地」を示すと同時に、「これから」を考えるための重要な羅針盤でもあります。しかし現場では、「決算書は見ているが、細かい数字の意味までは自信がない」「売上や利益は気にもして、その背景までは掘り下げていない」といった声が少なくありません。

この講座では、数字の背後にある企業活動を読み解き、課題の本質や成長の糸口を見出す力を養います。実在企業のケース演習を通じて、「どの数字を、どのように見るべきか」を体感的に学び、経営判断に活かせる実践的な財務感覚を身につけます。今日の数字から明日の戦略を描く。そんな「経営判断に活かせる財務分析力」を、ぜひこの機会に磨いてみませんか。

研修期間

2026年

9/2水～9/3木

(2日間・14時間)

対象者

経営者・経営幹部等

- 決算書の数字から経営状態を客観的に把握し、経営判断の精度を高めたい方
- 財務データを活用して、利益構造やコスト構造の改善策を考えたい方
- 資金繰りや安全性をチェックし、自社のリスクを把握・コントロールしたい方

定員 **16名**受講料 **22,000円(税込)**

会場

金沢パークビル 9階 902 会議室

石川県金沢市広岡3-1-1

※9階エレベーターを出て正面の会議室です

※中小機構のロゴマークが目印です

月 日	時 間	科 目	内 容
9/2 水	9:20-9:30	オリエンテーション	決算書を読む上で押さえるべき視点について学びます。 ■財務分析の基本と経営判断 ・経営判断と財務分析の関係 ・決算書を経営の武器にする視点
	9:30-17:30 昼休憩 12:30-13:30	財務諸表の読み方 と利益構造の理解	■損益計算書（PL）の構造と読み方 ・粗利増減要因分析（売上高増減・粗利率増減に対する仮説の立て方） ・営業利益と人件費の関係を事例で学ぶ ・節税貧乏にならないための資金繰り ・演習：建設業、製造業などのPLを用いた原因分析と仮説検証 ・収益改善のヒントの見つけ方 ■貸借対照表（BS）を読むポイント ・金融機関との交渉のポイント ・自己資金（手金）、借金、設備投資、支払い能力、運転資金などの安全性指標 ・演習：事例企業の財務リスクを仮説で読み解く
	9:30-12:30	財務諸表の応用 分析と経営シミュ レーション	■キャッシュフロー（CF）計算書 ・利益とキャッシュが一致しない理由 ・CF計算書を読むポイント ・稼いだ利益はどこに消えたのか？ ■損益分岐点 ・2ステップ方式で損益分岐点を計算する ・損益分岐点を使う場面とは ・変動費・固定費の分類法 ・演習：赤字解消の売上、目標売上の計算
9/3 木	13:30-17:30	総合演習	モデル決算書を題材に、実際の企業活動との連動をイメージしながら、業種や戦略による財務体質の違いや今後の課題、事業展開に関する意思決定の手がかりについて学びます。 ・業種・戦略による財務体質の違いを理解する ・優良企業・倒産企業・再生企業の財務構造と判断の違い
	17:30-17:40	修了証書授与	

※カリキュラムは、都合により一部変更する可能性がございますので、あらかじめご了承ください。

講師紹介（敬称略）



財務リスク研究所株式会社 代表取締役

横山悟一（よこやま ごいち）

会計事務所、コンサルティング会社等の勤務を経て、2002年アーネストコンサルティングを開業。2008年6月、名称を「財務リスク研究所」に変更。約10年にわたる研究を重ね、指標を使わない世界初の分析手法「ビジュアル分析」を開発。難解なバランスシートをわかりやすくするだけでなく、独自に開発した「財務与信格付けシステム」により、決算書の格付け、決算書に潜むリスクや粉飾を読み解くノウハウを確立。分析した決算書はすでに6,000社を超えており、著書に『3分間で決算書が読める!』(H&I)、『売上をあげる手段としての決算書の使い方』(総合法令出版)、『小さな会社のCFO』(日経BP社)、『新リーダーへ! 「これが会社の数字の読み方です!』(実務教育出版) ほか多数。